

平成29年度長岡市青少年健全育成総合対策実施計画（案）に対する意見・要望等

<全体的な意見>

- 青少年対策を実効性のあるものにして行くには「自助」と「互助」の意識を持ちながら支え合いの機能を高めていくことが大切である。「子育て・育ち“あい”プラン」の背景にもあるように、少子高齢化や核家族化の進行、地域社会における人間関係の希薄化など、子どもと家庭を取り巻く環境の大きな変化が青少年健全育成に大きく影響している。地域によっては民生委員や児童委員、保護司等の選出などにも苦勞されている。青少年健全育成の基盤となる地域の絆づくりの取り組みが充実することが本計画のより有効な対策として効果が期待できると思う。

- 青少年健全育成において、豊かな心を育むこと、夢を描き志を立てる力を付けさせることが重要である。市が多様な体験活動の場を提供することは素晴らしいことである。今後、小中高がより連携しながらキャリア教育の充実に努め、子どもたちが夢を描き志を立てることができるよう、教育活動の充実に努めていきたい。

- 小中学校の体験学習について、いろいろな分野の体験の機会を提供してほしい。

- 保護者全体に対する啓発の場や方法が限られている。催しや会に来てほしい人が来ていないという状況を何とかして、子育て・教育に関する啓発をしたい。小学校入学前の家庭教育講座などが大変有効だと思う。思春期にかかる小学校高学年から中学校入学前に同様のことができればいいと思う。

頁	事業名（主管課）	意見・要望等	備考
4	通学路公衆街路防犯灯設置 支援事業 （市民活動推進課）	通学路の歩行者用信号機も地域の意見で新設できるようにしてほしい。	
5	母子保健の知識の普及 「1 パパママサークル」 （子ども家庭課）	各子育ての駅でプレパパ・プレママと先輩パパ・先輩ママの交流を取り入れてはどうか。 ※プレ＝父親・母親になる前	
5	健康診査及び保健指導 「6 1歳6か月児・3歳児 健康診査」 （子ども家庭課）	健康診査の機会に、子育て支援施設の活用方法や子育てコミュニティ・サークルの情報等を紹介し、子育て中の親が気軽に相談できる場所“居場所づくり”を提案してあげてほしい。	
6	健康診査及び保健指導 「7 1歳6か月児・3歳児 健康診査時の心理相談」 （子ども家庭課）	「運動・発達などに問題のある児」の判断は健診時のみの判断は妥当ではないと考える。	
		心理相談は、子育てに悩んだ経験のある人がよいのではないか。 また、一時的なものか本当に対応が必要なのか、子どもの普段の様子を見ている各機関（保育園、子育てサークル、子育て支援施設等）と連携していくことも必要ではないか。 出生から3歳までの段階で手厚い支援が本当に必要か。	
6	家庭教育支援推進事業 （子ども家庭課）	項目のみ記載されているので、事業の説明を加えてほしい。	各項目の説明も加えます。
		「おやこスマイルガイド」は改訂するか。	
7	放課後児童健全育成事業 （児童クラブ）	児童クラブに子どもに対していい加減な態度を取っている厚生員がいると聞いた。問題のある子だと判断されると児童クラブ	

頁	事業名（主管課）	意見・要望等	備考
	(子ども家庭課)	を退会しなければいけないので、保護者は遠慮して何も言えない方が多いと聞く。市は保護者から話をよく聞き、態度に問題がある厚生員に対し、しっかりと指導してほしい。	
10	要保護児童対策地域協議会事務局 (子ども家庭課)	虐待などがなくても、一人親の家庭に限り一定期間子どもの保護をお願いしやすくなると、親のストレスが原因の事故を未然に防ぐことができるのではないかと。	
12	(1) 特別保育事業 「表」(保育課)	表下部に「幼保連携型認定こども園も同様」と入れてほしい。	別紙のように修正します。
12	(1) 特別保育事業 「病児・病後児保育事業」 (保育課)	病児・病後児保育の対象を小学校低学年まで広げてほしい。	記載漏れです。現在も小学生まで対象になっています。別紙のように修正します。
12	(2) 保護者との連携 「保育園だよりの発行」 (保育課)	市が予算化して保育園だよりと保育参観をしているか。予算化せずに各園の取り組みを載せているのであれば、幼稚園・認定こども園も膨大な内容を掲載することになる。	保育園の取り組みの一例として掲載しており、予算化の有無は関係ありません。幼稚園や認定こども園等について掲載すべき取り組みがありましたらご提案ください。
13	4 地域型保育事業 (保育課)	地域型保育の分類をきちんと記載してほしい(A型、B型等)。	別紙のように修正します。
14	1 生徒指導の充実 「説明文」 (学校教育課)	「いじめや不登校など生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見、即時対応に努め～」の「未然防止」は具体的にどのような対策か。小中学生のときはコミュニケーションを学んでいる段階なので、この段階で問題を未然防止することは難しいと思う。「未然防止」と表記しない方がいいのではないかと。	

頁	事業名（主管課）	意見・要望等	備考
23	中高生対象企業説明会 （商業振興課）	ハイスクールガイダンスを活用し、中高生にライフデザインについて学んでもらう機会にしたらどうか。自分の進路や将来について考えるきっかけづくりになると思う。	
23	第4章 就労に関する施策の推進 （学校教育課） （商業振興課）	学校教育や就労支援において、労働法制の基本的事項（ワークルール）やワーク・ライフ・バランスの重要性について理解を深める取り組みを推進してほしい。ブラック企業、長時間労働、ハラスメント等の問題は若者の理解不足も背景の一つであると言われている。	
重点施策 （子ども家庭課）		体系ごとに施策を掲載しているが、市としてどの部分を優先的に取り組もうとしているのかが分かりにくい。平成29年度ほどの事業を重要と位置付けているのかを知りたい。	
計画の見直し （子ども家庭課）		本当に事業の効果があったのか、検証や反省の場を設けて、より充実した計画になるよう取り組んでほしい。	
子どもの貧困対策 （子ども家庭課）		<p>計画には「子どもの貧困対策の推進」についての記載が無い。</p> <p>新潟市では子ども・子育て会議の中に「子どもの貧困対策部会」を新設し、平成29年度に「子どもの貧困対策推進計画」（仮称）を策定する予定。</p> <p>長岡市は同様な計画を策定する予定はあるか。長岡市6月議会で「子ども貧困対策チーム」立ち上げの提案があったが、「既に関係部局が連携し、組織横断的な取り組みを行っている」と回答している。今年度の取り組み状況を教えてほしい。</p>	